



「ははあつ。」

と、馬をかえして、小松部落へ行きました。

小松の村人の大部分は、身のまわりの物をもつて、戦火を恐れて、今の川南小学校のあたりの松林の中にかくれておりました。

そこで、板木（バンギ）をうちならし、村の人々を集め、山川大蔵がみずから頼みました。小松の人々は、

「お国のためだから。」

と、重左衛門を先頭に、決死の一組の獅子団を組み、「通り」という勇壮な曲を奏して、山川の軍の先頭に立ち、飯寺から川原町へと進んで行きました。